

2017年7月改訂

動物用医薬品

指 定

貯法 密閉遮光容器 室温保存

承認指令番号 57畜A第669号

販売開始 昭和57年3月

サルファ剤

要指示医薬品 指定医薬品 使用基準

10kg(1kg×10分包)

# F-ジメトキシ-10%

## 【本質の説明又は製造方法】

葉酸合成阻害により病原微生物対策に有効なスルファジメトキシンを沈降炭酸カルシウムにて賦形し、混合して均質な散剤としたものである。

## ■成分及び分量(本剤100g中)

スルファジメトキシ…10g

## ■効能又は効果

豚:トキソプラズマ病

鶏:コクシジウム病、伝染性コリーザ、

ロイコチトゾーン病

## ■用法及び用量

飼料1t当たりスルファジメトキシとして下記の量を均一に混じて経口投与して下さい。

豚:700~2,000g(本剤として7,000~20,000g)

鶏(産卵鶏を除く):コクシジウム病、伝染性コリーザ

500~1,000g(本剤として5,000~10,000g)

ロイコチトゾーン病25~100g(本剤として250~1,000g)

## ■使用上の注意

(基本的事項)

### 1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- (1)本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- (2)本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (3)本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (4)本剤の使用に当っては、適応症の治療に必要な最小限の投与に止めることとし、過剰にわたる連続投与を行わないこと。
- (5)本剤は「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意:本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物(豚、鶏:産卵鶏を除く。)について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

鶏(産卵鶏を除く.):食用に供するために殺する前14日間

豚:食用に供するために殺する前14日間

## (使用者に対する注意)

飼料等に混合する際は、マスク等を着用し、粉じん等を吸い込まないように注意し、また皮膚に付着しないように注意すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- (1)小児の手の届かないところに保管すること。
  - (2)本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
  - (3)誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
  - (4)使用済みの容器は地方公共団体条例等に従い処分すること。
  - (5)本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
2. 使用に際して気を付けること

## (使用者に対する注意)

- (1)誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- (2)取扱い後、顔や手を石鹸と水でよく洗い、十分にうがいをする。
- (3)万一眼に入った場合には、直ちに水でよく洗うこと。万一刺激が持続するようであれば、医師に相談すること。

## (豚及び鶏に関する注意)

副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

## (取扱い上の注意)

十分混合してから投与すること。

## 【製品情報お問い合わせ先】

株式会社 養日化学研究所

名古屋市守山区金屋2丁目393番地 TEL052(791)2084

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。

製造販売元



株式会社 養日化学研究所

名古屋市守山区金屋2丁目393番地

製造番号



(01)14573211140382